

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年、22 回目の国勢調査が実施され、読者の皆様も調査資料作成に時間を費やしたと思います。国勢調査は5年ごとに行われ、この結果は、今年の5月ごろに人口速報集計が公表される予定です。

最新の高齢者人口等が、どのような状況なのかによって国の施策も変わってくると考えられます。

私どもでは、新聞を定期購読していますが、折り込み広告の中に高齢者施設を経営している法人様の独自アイデアが掲載されており、2例を紹介します。

一つ目は、某大手企業の年齢による入居金の設定に差を付けていることです。

利用開始日時点で満75歳～満91歳未満の方は標準入居金が数千万ですが、満91歳以上の方は4割ほどの値引き価格になっています。

二つ目は、シニア住宅と介護付き有料老人ホームを経営している某大手企業では、ライフステージに合わせて同法人が経営している A シニア住宅から B 介護付き有料老人ホームへ 住み替えを提案しています。このように、有料老人ホームを含めた高齢者施設業界は、これまでにないシビアな競合社会になっております。

私は、各法人様のオリジナリティーな提案は素晴らしいと思いますが、視点を変えて、経営を任されている法人の数字的な裏付けは大丈夫でしょうか。

昨年も有料老人ホームの経営破綻がニュースになっているように、高齢者の皆様が暮らすシニア住宅の経営状態が悪化しては、明るい未来はありません。

経営法人の収入と支出の実態や金融機関からの借入金など財務諸表を読み解くことも重要になりますので、第6回ラビドール御宿東京セミナーでは、財務諸表の基本的な用語解説やラビドール御宿の経営状況をわかりやすく説明させていただきます。

○第6回ラビドール御宿東京セミナー

日時：令和8年3月24日(火) AM10:30～12:00

場所：東京都中央区京橋1-10-7 AP 東京八重洲10階

定員：30名～40名

第6回ラビドール御宿東京セミナーの概要は、次回のラビドールかわら版 Vol.76 に掲載予定です。

以上



一般財団法人 千代田健康開発事業団
介護付有料老人ホーム ラビドール御宿
入居相談室 0120-122-602
(財団本部)東京入居相談室
0120-605-107